

2019 年 9 月 13 日

各 位

国立大学法人神戸大学

神戸大学×UR都市機構×NTTデータ 「未来の団地×ITアイデアソン」の開催について

国立大学法人神戸大学（学長：武田 廣、以下神戸大学）と独立行政法人都市再生機構（本社：神奈川県横浜市中区、理事長：中島正弘、以下「UR 都市機構」）と株式会社NTTデータ（本社：東京都江東区、代表取締役社長：本間洋、以下「NTTデータ」）は、地域課題解決を目指す次世代人材の育成を目的に、「未来の団地×IT アイデアソン」（以下「本アイデアソン」）を共同で開催します。

神戸大学が複数の大学の代表校として申請した「地域創生に定める実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム」事業が、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に採択されました。本事業は地域課題解決に資する人材育成のための教育プラットフォームを構築し、学生の地元定着を目指す取り組みです。

UR 都市機構は、賃貸住宅団地を活用する取組みの一つとして、地域と連携・協力しながら、豊かな屋外空間を備え、多くの方々が住まう団地を“地域の資源”として活用し、地域に必要な住宅・施設・サービスの整備事業を推進しており、事業の一環としてこれまで各地域の大学と連携して様々な取り組みを実施してきました。

NTTデータは、主に社会科学系の学生が授業や自由演習で利用する情報処理教室のネーミングライツ・パートナーとして施設命名権（NTTDATA IT Room）を取得し、2018年3月に神戸大学と協定を締結しました。教育研究環境の充実に加え、次世代人材の育成を支援することで合意しました。

各々の強みやこれまでの取組みを活かし、COC+事業の一環として、神戸大学とUR都市機構、NTTデータの三者が連携し、本アイデアソン開催が実現しました。

<本アイデアソンの概要>

地域社会を取り巻く環境において、少子高齢化や頻発する自然災害、それらに伴うコミュニティの希薄化が課題となっている中で、ITを活用した社会課題解決のアイデアが生まれ、最近ではAIやIoTの活用も進んでおり、これら新技術の暮らしへの応用が期待されています。

本アイデアソンでは、UR都市機構における住宅団地の課題を担当者から説明を受けた参加学生が、神戸大学のCOC+を中心とした地域創生の取組事例や、少子高齢化、医療福祉、災害や危機管理、地域活性化など、さまざまな社会課題の解決に寄与するITシステムの開発にも注力してきたNTTデータが持つITソリューションや最新技術の知見を参考に、最新のテクノロジーが、課題解決にどのように役立つのかを理解しながら、斬新で柔軟な発想で未来の団地の仕組みを考え、ITを活用したアイデアを競います。

UR都市機構は優れたアイデアを審査で選定し、優勝チームは表彰されます。

参加予定学生：文系・理系を問わず全学部・研究科の学部生および大学院生

開催日時：2019年10月22日（火・祝日）11時～15時30分

場 所：神戸大学六甲台第2キャンパス 瀧川記念学術交流会館2階大会議室

以上



神戸大学×UR都市機構×NTTデータ 未来の団地×ITアイデアソン開催！

神戸大学、UR都市機構、NTTデータの三者共催で、未来の団地×ITアイデアソンを開催します。みなさんのアイデアで、少子高齢化社会における未来の団地の仕組みを考えよう！

- ✓ 社会課題の解決に取り組むことで社会に対する感度が高められる！
- ✓ 社会に出てから必要な実践的な思考力、創造力を強化できる！
- ✓ UR都市機構、NTTデータとの協働で、社会人と接し就職力アップ！
- ✓ ITのことを全く知らなくてもOK！学部学科を問いません！

【日程】 2019年10月22日（火・祝日）
11時～14時半 アイデアソン（昼食を提供します）
14時半～15時半 懇親会・審査・講評

【場所】 神戸大学六甲台第2キャンパス
瀧川記念学術交流会館2階大会議室



【当日の流れ】

- ✓ UR都市機構から団地の現状と課題を説明
- ✓ NTTデータからITソリューション、IT活用のヒントについて説明
- ✓ 学生のみなさんでITを活用した課題解決のアイデアを出し合う
- ✓ チームごとにプレゼンを行い、UR都市機構にアイデアを提示
- ✓ UR都市機構から審査結果を発表（優勝チームには図書券を進呈！）

【募集人数】 40名 ※学年、学部は問いません

神戸大学のWEBサイトより、お申込みをお願いします。
申し込み受付締切日：10月11日（金）
※先着順となりますのでお早めにお申し込みください！



神戸大学WEBサイト

NTTデータは神戸大学（情報処理教室）のネーミングライツ・パートナーです